



# キャブ・キット

## Workman® HDX および HDX-Auto 汎用作業車

モデル番号07392—シリアル番号 315000001 以上

### 取り付け要領

## 安全について

### ▲ 警告

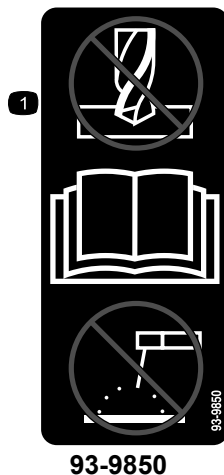
カリフォルニア州  
第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、  
ガンや先天性異常などの原因となる化学物  
質が含まれているとされております。

## 安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の  
見やすい部分に貼付してあります。  
読めなくなったものは必ず新しいも  
のに貼り替えてください。

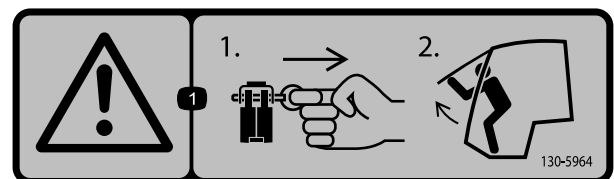


1. 修理や改造をしないことオペレーターズマニュアルを読むこと。



117-4955

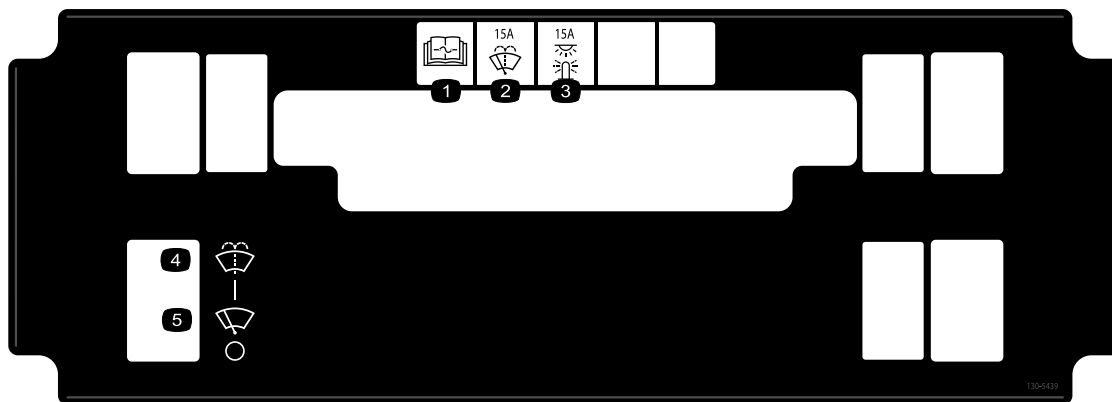
1. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと 運転席ではシートベルトを着用すること 車体を傾けないこと。
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。



130-5964

1. 警告緊急時には、各ヒンジについているロックピンを抜き取り、前窓を押し開いて脱出する。





130-5439

1. ヒューズに関する詳しい情報はオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 前窓ワイパー15A
3. 照明15A
4. ワイパースプレー
5. ワイパー

## 取り付け

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	－	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	－	中央コンソールパネルと運転席を外す。
3	必要なパーツはありません。	－	CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、冷却液タンク、ROPS アセンブリ、シートシュラウドを外します。
4	必要なパーツはありません。	－	機体をジャッキアップして前輪を外します。
5	圧縮スプリング 白	2	圧縮スプリングロッドを取り付けます。
6	ヤブ後部取り付けブラケット 内部側キャブ前部取り付けブラケット 外部側キャブ前部取り付けブラケット ゴム製アイソレータマウント ボルト3/8 インチ ナット3/8 インチ ボルト1/2 インチ ワッシャ ナット(1/2 インチ	2 2 2 4 4 4 2 2 2	キャブ取り付けブラケットを取り付ける。
7	必要なパーツはありません。	－	運転席シュラウドを取り付ける。
8	サイドプレート・パネル	2	サイドパネルを取り付ける。

手順	内容	数量	用途
<b>9</b>	キャブフレーム	1	キャブフレームを取り付ける。
	ボルト 1/2 インチ	4	
	ワッシャ 1/2 インチ	4	
	ナット (1/2 インチ	4	
<b>10</b>	ワイヤハーネス	1	ワイヤハーネスを配設する。
	ケーブルタイ	4	
	ヒューズ, 30 A	1	
<b>11</b>	フロアプレートパネル	2	フロアプレートとサイドプレートパネルを取り付ける。
	サイドプレートパネル	2	
	ボルト 1/4 インチ	12	
<b>12</b>	ボルト 1/4 インチ	2	センターコンソールパネル、座席、冷却液タンク、マニュアル保管チューブを取り付ける。
	スペーサ	2	
	ストラップ	1	
	ナット (1/4 インチ	2	
	CVT インテークフード・アセンブリ 別売	1	
<b>13</b>	必要なパーツはありません。	—	バッテリーを接続し、荷台を降ろし、フードを取り付ける。

## その他の付属品

内容	数量	用途
圧縮スプリング工具	1	圧縮スプリングを取り付ける。
CVT インテークフード・アセンブリ ワークマン HDX-Auto のみ	1	CVT インテークフード・アセンブリ を取り付けます。

# 1

## キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に停車して駐車ブレーキを掛ける。
2. 荷台を装着している場合には、これを上昇させるか取り外すかする。

**注** 荷台の昇降と取り外し手順の詳細説明については車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

3. エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。
4. バッテリーを取り外す車両のオペレーターズマニュアルを参照。
5. ヘッドライトの開口部でフードをつかみ、フードを持ち上げて、下側の取り付けタブをバンパーのスロットから外す [図 1](#)。

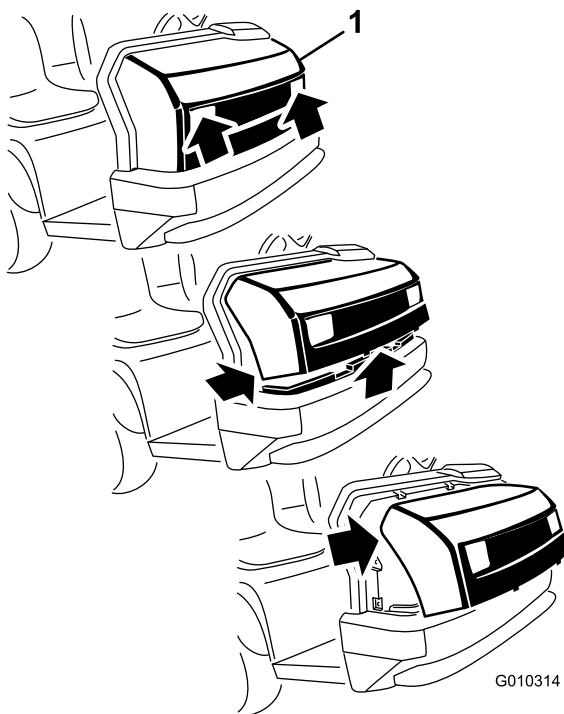


図 1

1. フード

6. フードの下側を手前に持ち上げてから下に引っ張り、上側の取り付けタブをフレームの穴から外す [図 1](#)。
7. フードの上側を手前に倒し、ヘッドライトからワイヤコネクタを抜く [図 1](#)。

8. フードを外す。

# 2

## 中央コンソールパネルと運転席を外す

必要なパーツはありません。

### ワークマン HDX 車両から、中央コンソールパネルを取り外す

1. コンソールについている各種レバーおよびギアシフト・レバーについているノブを全部外す [図 2](#)

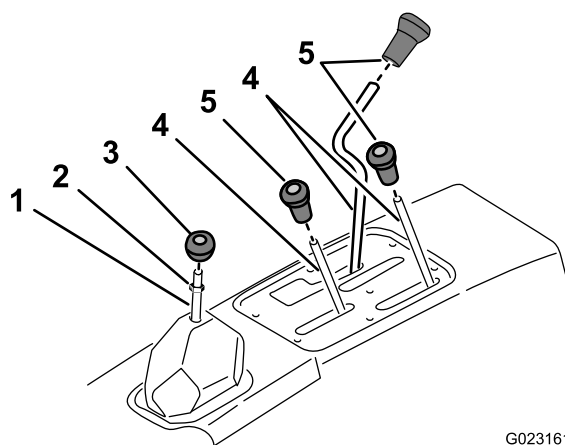


図 2

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. シフターのロッド  | 4. コントロールロッド |
| 2. ジャムナット    | 5. コントロールノブ  |
| 3. シフターのハンドル |              |

2. ギアシフトレバーからジャムナットを外す [図 2](#)。
3. 中央コンソールのカバープレートの外側エッジ部をシャーシに固定しているねじ6本を外して、カバープレートを取り外す [図 3](#)。

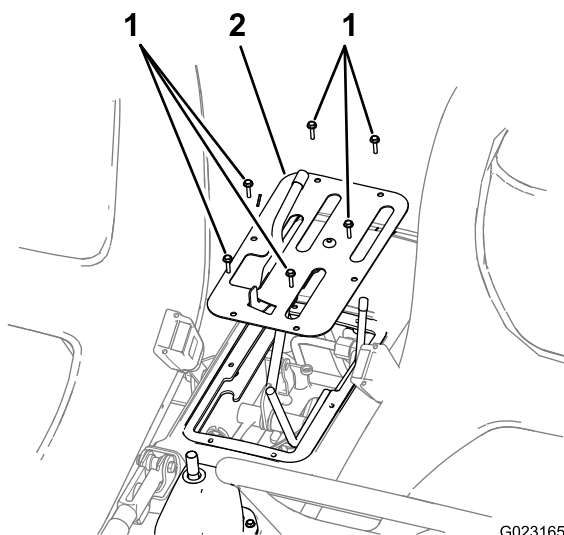


図 3

1. ねじ                      2. カバープレート

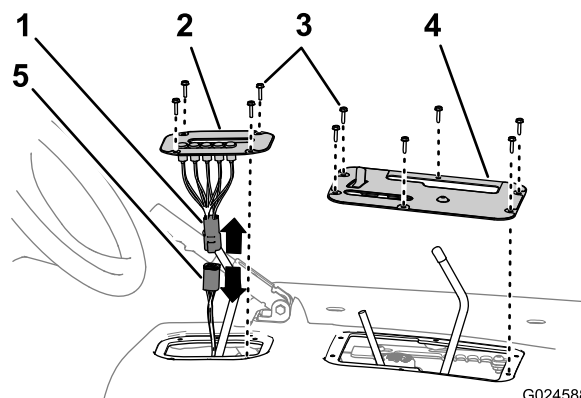


図 5

1. インジケータのコネクタ      4. コントロールカバー  
2. シフト表示カバー              5. 車両のハーネス・コネクタ  
3. 六角ねじ

## ワークマン HDX-Auto 車両から、中央コンソールパネルを取り外す

1. コンソールのレバーについているノブ、トランスミッションレバーのノブを全部外すノブはどれも左に回すと外れる 図 4。

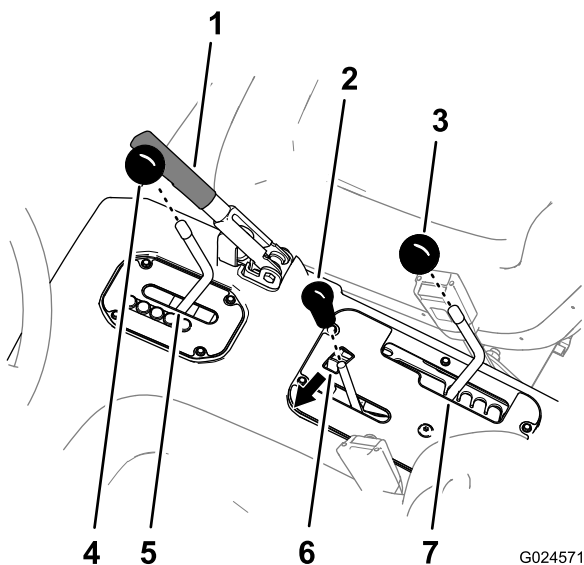


図 4

1. ブレーキレバー                      5. トランスミッションレバー低速位置  
2. 昇降レバーのノブ                  6. 昇降レバーロックロック位置 - 左  
3. 速度レンジレバーのノブ          7. 速度レンジレバーA位置  
4. トランスミッションレバーのノブ

3. シフト表示用インジケータを持ち上げてコネクタを外し、インジケータカバーを車両から取り外す 図 5。  
4. コントロールカバーを座席シュラウドに固定している六角ねじ6本を外し、コントロールカバーを取り外す 図 5。

## 座席を取り外す車体から

座席レールをシャーシに固定しているソケットヘッド・ボルト8本を外して運転席を取り外す 図 6。

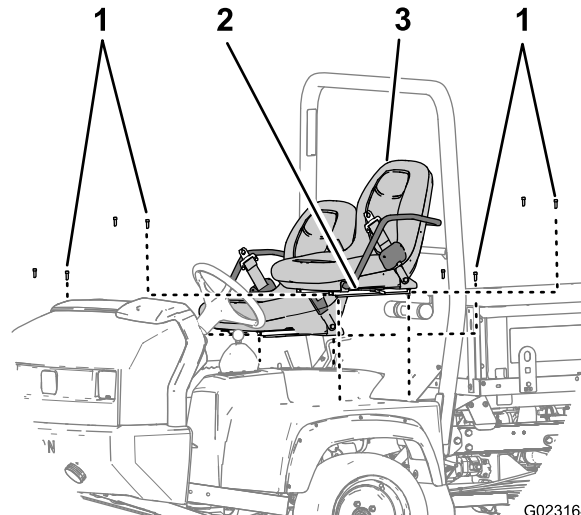


図 6

1. ソケットヘッドボルト              3. 運転席  
2. シートレール

2. シフト表示カバーを座席シュラウドに固定している六角ねじ4本を外す 図 5。

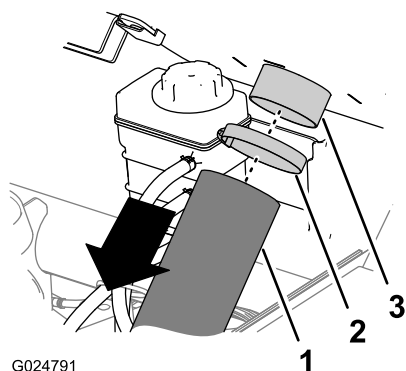
# 3

## CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、冷却液タンク、ROPS アセンブリ、シートシュラウドを取り外す。

必要なパーツはありません。

### CVT 冷却ダクトを外すHDX-Auto のみ

CVT 冷却ダクトをCVT インテークのフランジに固定しているホースクランプ助手席側のROPSパネルの裏側を外す図7。



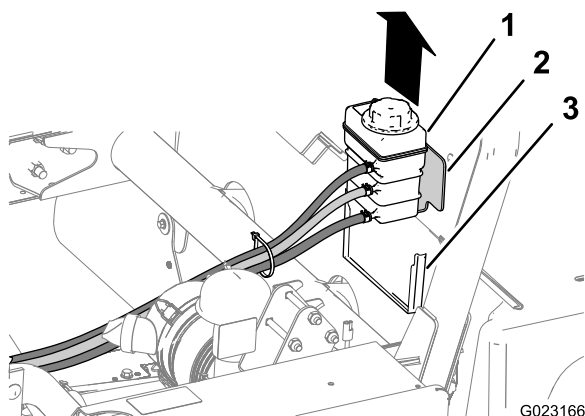
G024791

図 7

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. CVT インテークホース | 3. インテークチューブのコネクタ |
| 2. ホースクランプ      |                   |

### 冷却液タンクを取り外す

1. 運転席シュラウド後部のサポートポケットから、冷却液タンクを持ち上げて取り外す図8。



G023166

図 8

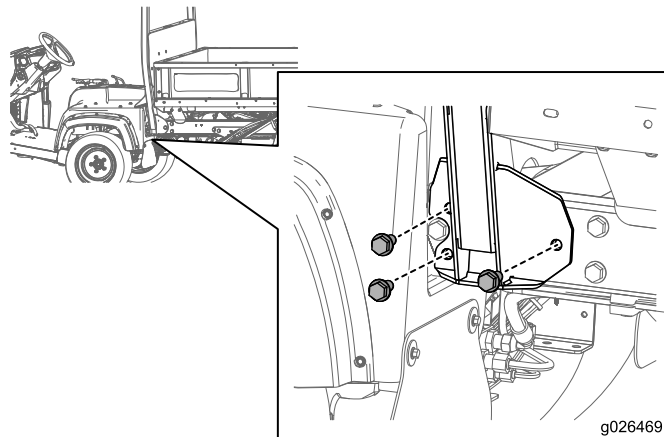
- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 冷却液タンク       | 3. 運転席のシュラウド |
| 2. 例薬液タンクのブラケット |              |

2. 冷却液タンクを、エンジン/シャーシの上に真っ直ぐ立たせて置く。

### ROPSアセンブリを取り外す

図9と図10に示されているように、ROPSアセンブリを車体フレームに取り付けているボルト6本を外す。

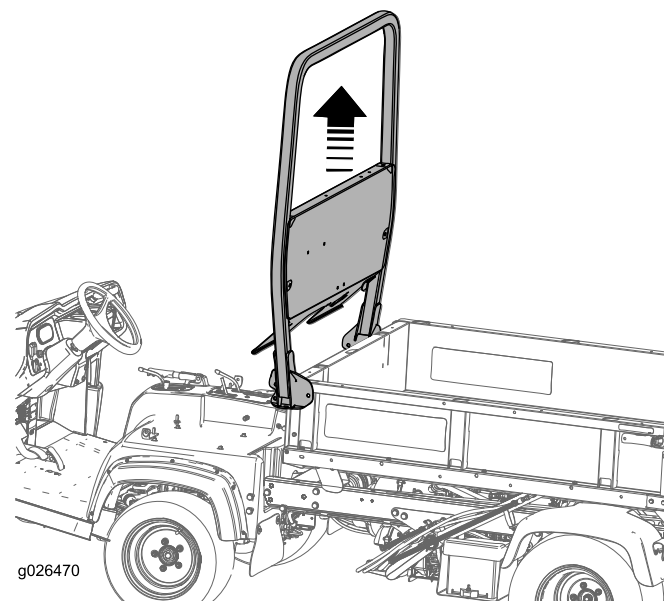
注 ボルトは捨てないこと。



g026469

図 9

ROPSアセンブリに取り付けてあるオペレーターズマニュアル保管チューブとそのRクランプを取り外す。



g026470

図 10

# 運転席シュラウドを取り外す

## ワークマン HDX の場合

1. 駐車ブレーキが掛かっていることを確認する 図 11。

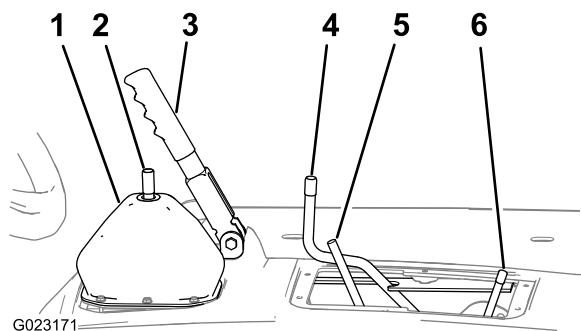


図 11

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. ギアセクタのカバー | 4. ロッド、デフロック        |
| 2. ロッド、ギアセクタ | 5. ロッド、油圧荷台昇降       |
| 3. 駐車ブレーキ    | 6. ロッド、ハイローレンジ・シフター |

2. デフロック用のロッドを前右方向ロック位置に倒す 図 11。

## ワークマン HDX-Auto の場合

1. 車両用ハーネスからシフトインジケータ用のコネクタを外す 図 12。

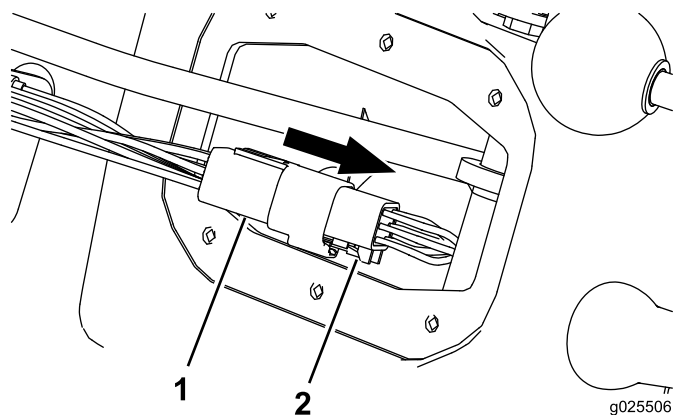


図 12

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. シフト表示用コネクタ | 2. 車両用ハーネス |
|---------------|------------|

2. 中央コントロールアセンブリを持ち上げて回して外し、サスペンションスプリングへのアクセスを確保する。

## 両モデル共通

運転台シュラウドを持ち上げて機体から取り外す 図 13。

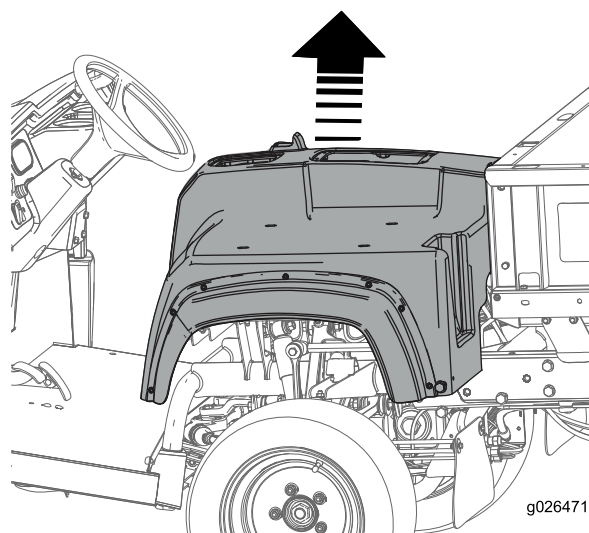


図 13

## ワークマン HDX-Auto の場合

昇降バルブをコントロールのブラケットに固定しているボルトを外し、コントロールブラケットを機体に固定しているナットとボルトを外す 図 14。

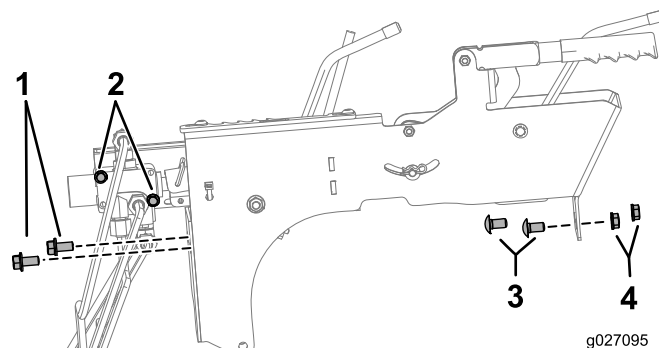


図 14

- |                                 |                              |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. コントロールブラケットを機体に保持しているボルト。    | 3. コントロールブラケットを機体に保持しているボルト。 |
| 2. 昇降バルブをコントロールブラケットに固定しているボルト。 | 4. ナット                       |

# 4

## 機体をジャッキアップして前輪を外す

必要なパーツはありません。

### 機体をジャッキアップする

#### ⚠ 危険

ジャッキアップされている車体は不安定であり、外れると下にいる人間に怪我を負わせる危険が高い。

- ・ ジャッキアップした状態では車両を始動しない。
- ・ 車両から降りる時は必ずスイッチからキーを抜いておく。
- ・ ジャッキアップした車両には輪止めを掛ける。
- ・ ジャッキアップした状態でエンジンを始動してはならないエンジンの振動や車輪の回転によって車体がジャッキから外れる危険がある。
- ・ ジャッキアップした車体の下で作業するときは、必ずスタンドで車体を支えておくこと。万一ジャッキが外れると、下にいる人間に怪我を負わせる危険が高い。
- ・ 車両前部をジャッキアップする時は必ず5×10 cm 程度の木片等をジャッキとフレームの間に挟ませる。
- ・ 車両前部のジャッキアップポイントは、前中央フレームサポートの下側です [図 15](#)。

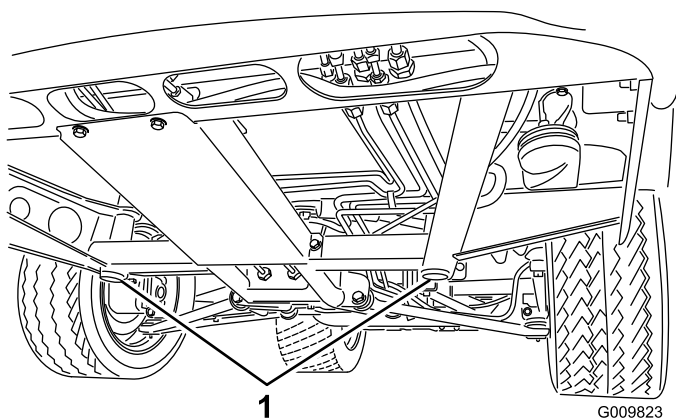


図 15

1. 車体前部のジャッキアップポイント

## 前輪を取り外す

1. 前輪をホイールハブに固定しているラグナット5個を外す [図 16](#)。

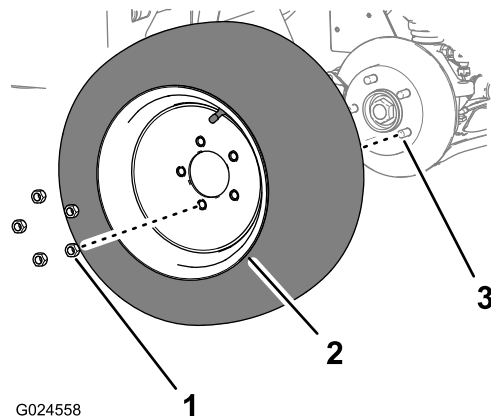


図 16

1. ラグナット
2. 前輪
3. ホイールハブ

2. ホイールハブから前輪を取り外す [図 16](#)。
3. マシンの反対側の前輪についても1と2の作業を行う。

# 5

## 圧縮スプリングを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

- |   |           |
|---|-----------|
| 2 | 圧縮スプリング 白 |
|---|-----------|

### 手順

1. [図 17](#)に掲載されている圧縮スプリング用工具を使って、圧縮スプリングロッドを各スプリングクレードルの穴に通す [図 18](#)。

**重要** スプリングクレードルを取り外す時、スプリングに力が掛かっているので十分注意してください。



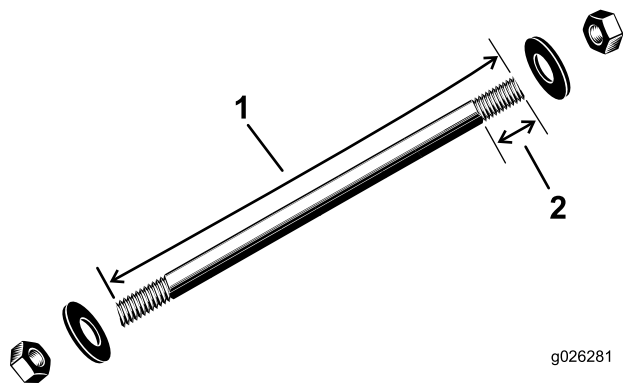


図 17

1. 51cm

2. 13cm

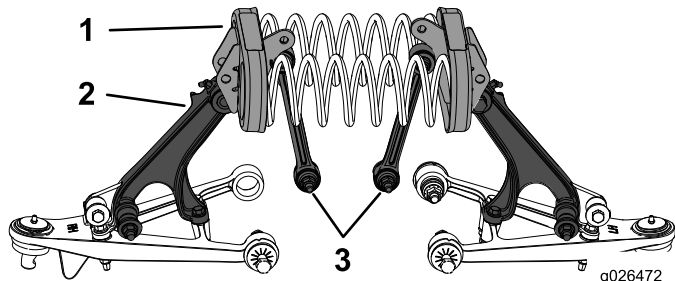


図 18

1. スプリングクレードル

3. スタビライザのリンク

2. コントロールアーム

2. 各スプリングの長さを測定して記録する。
3. ロッドの両端部それぞれにワッシャとナットを取り付ける 図 19。

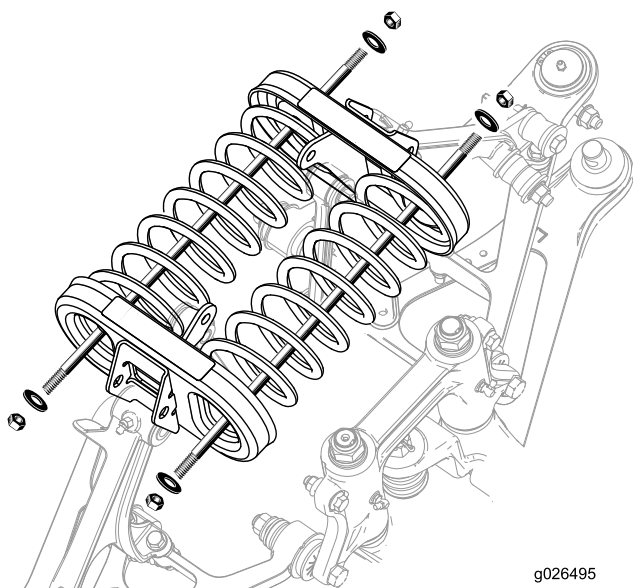


図 19

4. スプリングを固定するために、各ロッドにつき1個のナットを締める。

5. 図 20に示すように、各スタビライザのたんプラスチックからボルトとナットを外す; 詳細図 A。

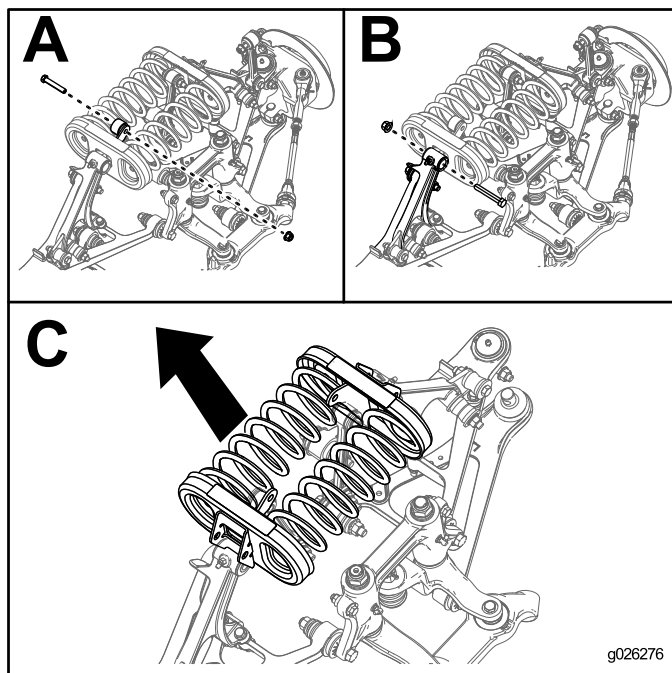


図 20

6. 図 20に示すように、各スプリングクレードルを固定しているコントロールアームからボルトとナットを外す; 詳細図 B。
7. 図 20に示すように、機体からスプリングクレードルとスプリングを外す; 詳細図 C。

**注** スプリングクレードルのデカルの位置を記録しておいてください。クレードルは、あとから元通りの位置に戻す必要があります。

8. スプリングクレードルから既存のスプリングを外し、このキットのスプリング白色を代わりに取り付ける。
9. 圧縮スプリング工具を使用して、各スプリングを2で測定した長さに圧縮する。
10. スプリングを取り付け、クレードルを機体に戻す。
11. スタビライザのリンクとコントロールアームから先ほど取り外したボルトとナットを元通りに取り付ける。
12. 前輪を取り付け、機体を床に下ろす。
13. ホイールナットを 109 122N-m 80 90ft-lb=6.2 8.9kg.m にトルク締めする。

# 6

## キャブ取り付けブラケットを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	キャブ後部取り付けブラケット
2	内部側キャブ前部取り付けブラケット
2	外部側キャブ前部取り付けブラケット
4	ゴム製アイソレータマウント
4	ボルト 3/8 インチ
4	ナット 3/8 インチ
2	ボルト 1/2 インチ
2	ワッシャ
2	ナット (1/2 インチ

### 手順

1. 図 21 のように、後ブラケットを取り付ける ROPS アセンブリを取り外す (ページ 6) で ROPS から取り外したボルト・ナット類を使用する。

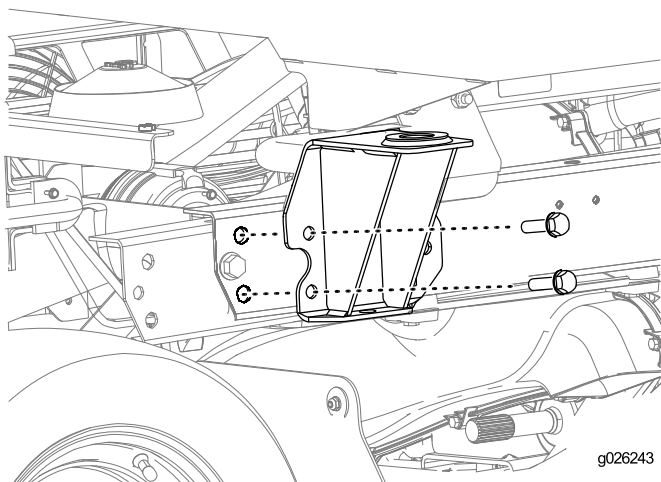


図 21

2. 94108Nm 9.711.1kg.m = 7080ft-lb にトルク締めする。
3. 図 22 のように、前部用ブラケット内部用と外部用を左右それぞれの側に取り付けるボルト 3/8 インチ 2 本、ナット 3/8 インチ 2 個、ボルト 1/2 インチ 1 本、ワッシャ 1 枚、ナット 1 個 1/2 インチを使用する。

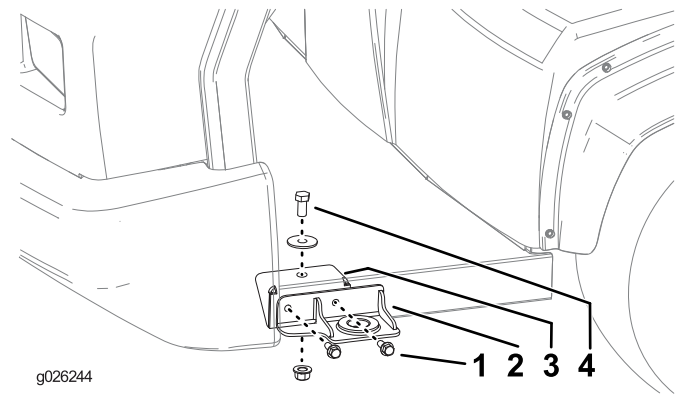


図 22

1. ボルト 3/8 インチ
2. 外部ブラケット
3. 内部ブラケット
4. ボルト 1/2 インチ

4. ボルト 2 本 3/8 インチを 3745Nm 3.746kg.m = 2733ft-lb に、またボルト 1 本 1/2 インチを 91113Nm 9.311.5ft-lb にトルク締めする。
5. 図 23 に示すように、4 つのゴム製アイソレータマウスを取り付ける。

注 石鹸水を使うと取り付けしやすくなります。

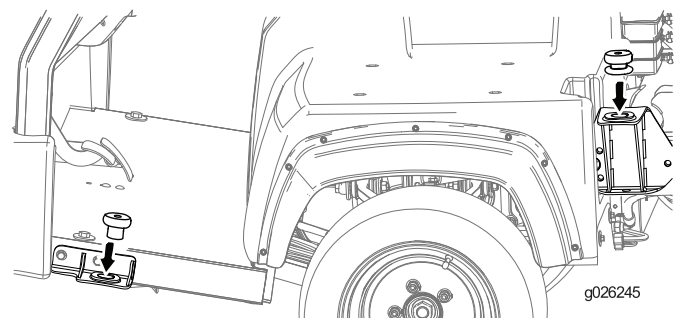


図 23

# 7

## 運転席シュラウドを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 運転席シュラウドを取り付ける

#### 両モデル共通

1. 運転席のシュラウドの開口部駐車ブレーキ用を、駐車ブレーキのハンドルに合わせる。
2. ギアセレクトカのカバーについている穴を、ギアセレクトカのロッドに合わせる。
3. 運転席のシュラウドの開口部を、荷台昇降レバー用、ハイローレンジセレクトカ用、デフロック用のロッドに合わせる。

4. 運転席シュラウトを降ろす。
5. シュラウドの開口部運転席取り付け用を、シャーシのシートサポート・ブラケットに合わせる。

**注** この時点ではまた本締めしないこと。

#### ワークマン HDX-Auto の場合

シフトインジケータをプラグに差し込み、コントロールブラケットを固定する [図 14](#) と [図 12](#)。手順 [運転席シュラウドを取り外す \(ページ 7\)](#) で取り外したねじを使用する。

## 8

### サイドパネルを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

2	サイドプレート・パネル
---	-------------

#### サイドプレート・パネルを取り付ける

1. サイドプレートパネルを入れることができるようにフェンダのボルトを約1回転ゆるめて隙間を作る。
2. [図 24](#)に示すように、座席シュラウドとサイドフェンダとの間にサイドプレートパネルを入れる。

**注** ボルトを締め付ける前に、パネルが完全に密着していることを確認してください。

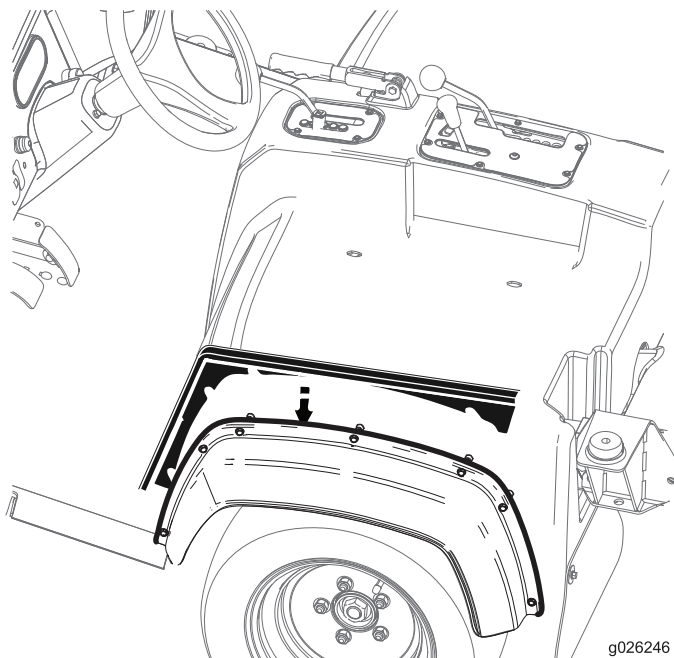


図 24

3. フェンダのボルトを締めつける。

**注** ナットを締めすぎないように注意してください。

## 9

### キャブフレームを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

1	キャブフレーム
4	ボルト1/2 インチ
4	ワッシャ1/2 インチ
4	ナット(1/2 インチ

#### 手順

吊り上げポイント部分でキャブを吊り上げて機体の上に降ろす [図 25](#)。

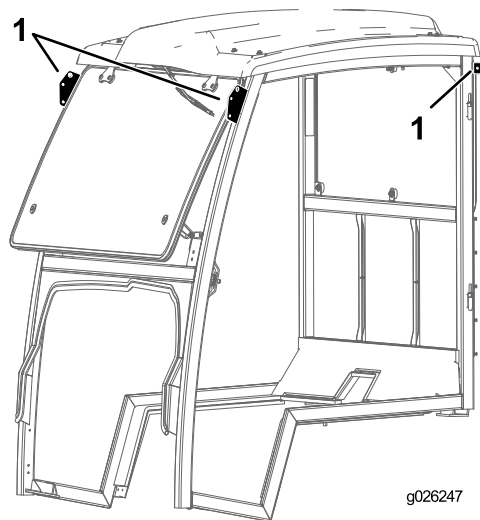


図 25

#### 1. 吊り上げポイント

フレームを機体に固定するボルト1/2 インチ4本と、ワッシャ1/2 インチ4枚、ナット1/2 インチ4個で [図 26](#) のように取り付ける。

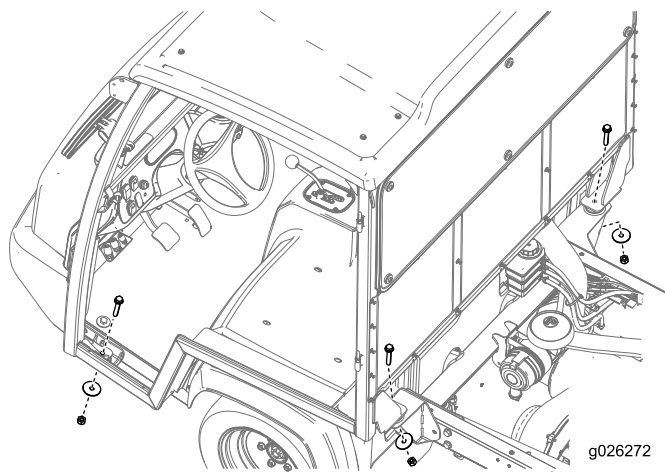


図 26

ボルトを91-113 Nm67-83 ft-lb = 9.3-11.5 kg.mにトルク締めする。

て分からないことがありましたら弊社代理店におたずねください。

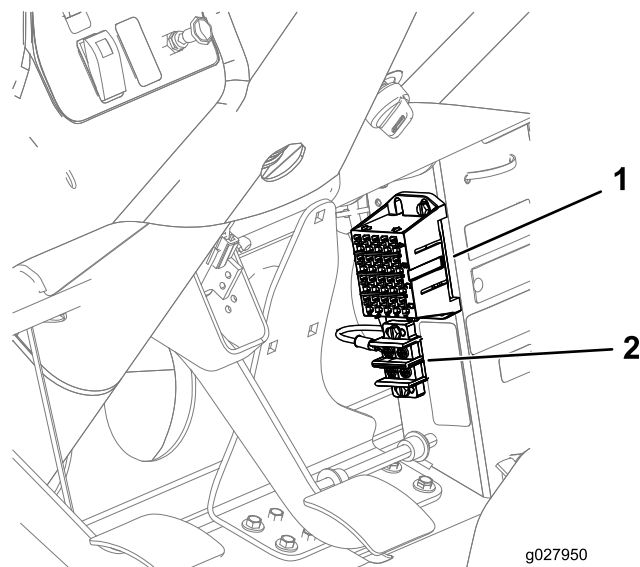


図 28

1. ヒューズブロック

2. アース端子ブロック

# 10

## ワイヤハーネスを配設する

### この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
4	ケーブルタイ
1	ヒューズ, 30 A

### 手順

ワイヤハーネスを 図 27 のように配設し、ケーブルタイ4本で固定する。

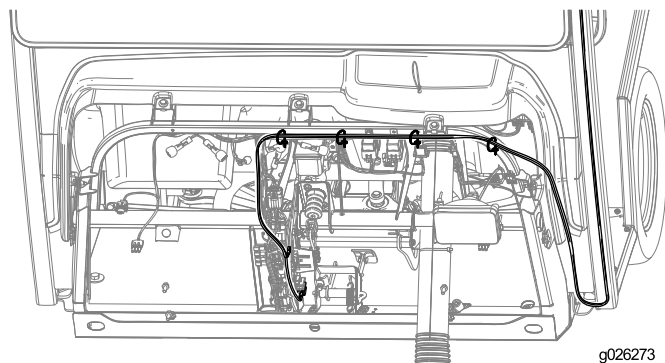


図 27

# 11

## フロアプレートとサイドプレートパネルを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	フロアプレートパネル
2	サイドプレートパネル
12	ボルト 1/4 インチ

### 手順

機体の左右それぞれの側にフロアプレートパネルを取り付けるボルト 1/4 インチ 3本を使い、 図 29 に示すように取り付ける。

ハーネスのリング端子をアースブロックに接続し、ヒューズブロックのコネクタを空いているヒューズブロック用のコネクタに接続してください 図 28。ヒューズブロックの接続に空きがない場合には、ヒューズブロックを追加してください。詳細について

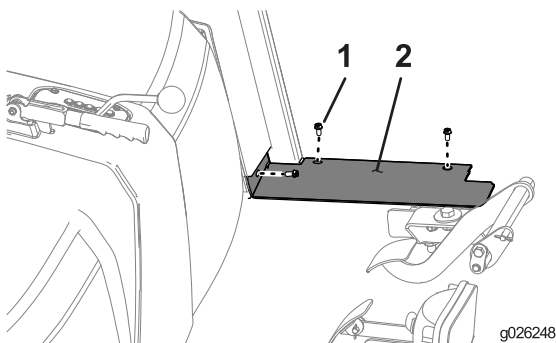


図 29

1. ボルト

2. フロアプレートパネル

ボルトを10171247Ncm1.01.3kg.m = 90110in-lbにトルク締めする。

機体の左右それぞれの側にサイドプレートパネルを取り付けるボルト 1/4 インチ 2本を使い、[図 30](#)に示すように取り付ける。

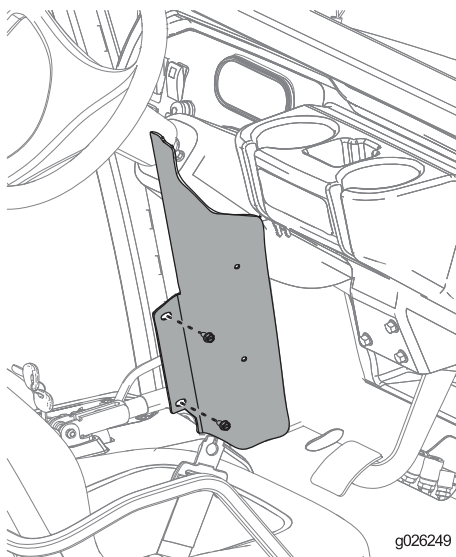


図 30

ボルトを10171247Ncm1.01.3kg.m = 90110in-lbにトルク締めする。

# 12

## センターコンソールパネル、座席、冷却液タンク、CVT 冷却ダクト HDX-Auto のみ、マニュアル保管チューブを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	ボルト 1/4 インチ
2	スペーサ
1	ストラップ
2	ナット (1/4 インチ)
1	CVT インテークフード・アセンブリ 別売

### 手順

1. [図 31](#)に示すようにマニュアル保管チューブを取り付ける。

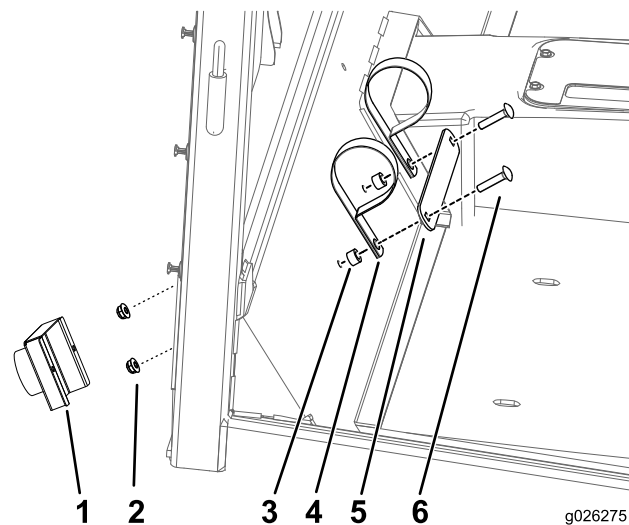


図 31

1. ナット
2. CVT インテークフード・アセンブリ ワークマン HDX-Auto のみ。別売品
3. スペーサ
4. R クランプ
5. プレート
6. ボルト

2. 座席レールについている穴を、シュラウドの穴 運転席を取り付けたい位置の穴に合わせる [図 6](#)
3. 運転席をシャーシに固定するソケットボルト 8 本 [図 6](#)の手順2 中央コンソールパネルと運転席を外す (ページ 4) で外したものを使用する。
4. ワークマン HDX-Auto のみ CVT 冷却ダクト [図 7](#) を、インテークチューブコネクタに固定するステップ 3 CVT 冷却ダクト HDX-Auto の



み、冷却液タンク、ROPS アセンブリ、シートシュラウドを取り外す。(ページ5)で外したホースクランプを使用する。

**注** ワークマン HDX-Auto では、CVT インタークフード・アセンブリをこのキットに追加する必要があります。代理店に連絡してください。

5. 中央コンソールのところで、コントロールロッドの上から中央コンソールパネルをかぶせ 図3 と 図5、手順2 中央コンソールパネルと運転席を外す(ページ4)で取り外したねじを使用してパネルを固定する。
6. 手順2 中央コンソールパネルと運転席を外す(ページ4)で取り外したノブを取り付ける。
7. 冷却液タンクブラケットの左右にあるフランジを、シートシュラウドの冷却液タンクサポートのブラケットに合わせる 図8。
8. サポートにタンクをセットし、完全に着座させる 図8。

# 13

## バッテリーを接続し、荷台を降ろし、フードを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

1. バッテリーケーブルプラスをバッテリーに接続する。
2. バッテリーカバーを握り込んで、タブをバッテリーベースに合わせ、力をゆるめるとカバーがセットされる。

**注** 車両のオペレーターズマニュアルを参照のこと。

3. 荷台を降ろすオペレーターズマニュアルを参照。
4. フードの底部を、バンパーの上部に合わせる。
5. ライトを接続する。
6. 上側の取り付けタブをフレームの穴に差し込む。
7. バンパーのポケットに、下側の取り付け用タブを差し込む。
8. フードが上下左右の溝にしっかりとまっていることを確認する。

## 製品の概要

### 各部の名称と操作

#### コントロールパネル

##### ワイパースイッチ

スイッチ上部を押すとワイパーが作動します 図32。

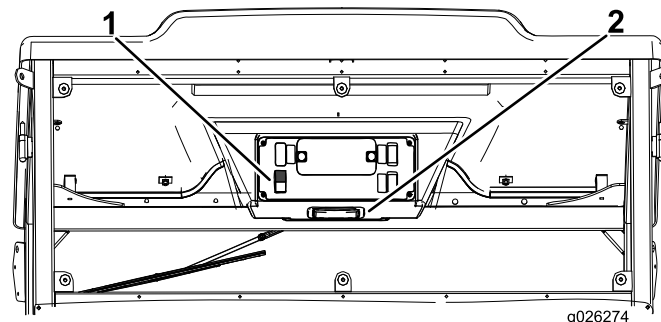


図 32

1. ワイパーコントロール      2. ライトスイッチ

##### ライトスイッチ

ライトプレートを押すとライトが点灯します 図32。

#### 前窓ラッチ

ラッチを上げると風防を開けることができます 図33。ラッチを押し込むように開くと窓を開いた状態で固定できます。閉じる時にはラッチを引き出して下げてください。

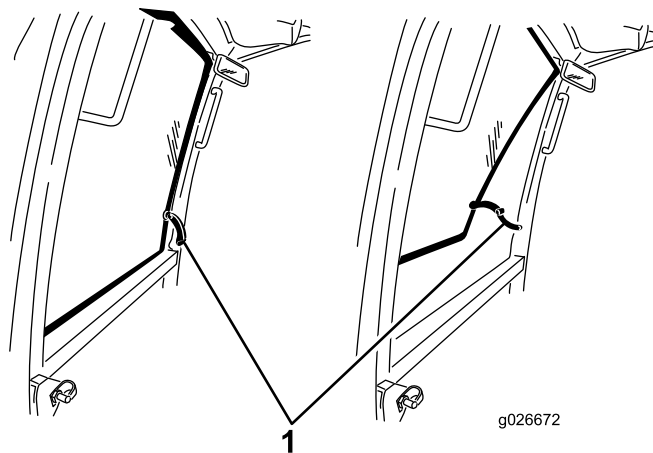


図 33

1. 前窓ラッチ

メモ

# 組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
07392	315000001 以上	Workman® HDX および HDX-Auto 汎用作業車用 キャブキット	CAB-HD WORKMAN	汎用作業車	2006/42/EC, 2000/14/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子滴通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



David Klis  
上級エンジニアリングマネージャ  
8111 Lyndale Ave. South  
Bloomington, MN 55420, USA  
November 13, 2014

EU技術連絡先

Peter Tetteroo  
Toro Europe NV  
B-2260 Oevel-Westerloo  
Belgium

Tel. 0032 14 562960  
Fax 0032 14 581911